

平成28年度進行管理・評価シート
尾道市歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定）
（最終変更平成28年10月13日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画	2
2 景観地区	3
3 屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 常称寺建造物保存修理事業	5
2 まちなみ形成事業	6
3 歴史的風致形成建造物修景・修復事業	7
4 指定文化財管理事業	8
5 文化財防災啓発事業	9
6 道路美装化事業	10
7 道路美装化事業(幹線街路)	11
8 沿道建造物等修景事業	12
9 老朽危険建物除却促進事業	13
10 空き家再生促進事業	14
11 夜間景観形成事業	15
12 総合案内板設置事業	16
13 多国語音声設備設置事業	17
14 便所洋式化改修事業	18
15 歩行者安全対策事業	19
16 道路水路修繕事業	20
17 文化財調査・研究事業	21
18 郷土芸能祭開催事業	22
19 史跡等総合活用支援推進事業	23
20 文化財愛護少年団事業	24
21 文化財講座開催事業	25
22 民俗芸能等支援事業	26
23 尾道歴史文化読本作成事業	27
24 文化財めぐり事業	28
25 近代化遺産活用事業	29
26 文化施設ネットワーク事業	30
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査に関する事項	31
2 文化財の修理に関する事項	32
3 文化財の防災に関する事項	33
4 文化財の継承の仕組みに関する事項	34
5 文化財の活用に関する事項	35
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 総合案内板に多国語音声 尾道市整備 公衆トイレ洋式化も	36
⑥その他(様式1-6)		
1 他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組	37
2 観光客(入込、外国人)数の推移	38

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	39
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成28年度
----	--------	--------

現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------	---

計画に記載している内容

- 計画策定段階の庁内検討会を継承・発展させた関係課による推進体制を構築
- 文化財部門の文化振興課とまちづくり推進課のより密度を高めた連携・調整等
- 国・県等関係機関との協議と適切な支援を得るよう努める

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内体制では、まちづくり推進課が行うハード整備(道路美装化事業等)の実施にあたって、庁内の道路管理部局、商工及び観光部局と日常的に協議を実施し事業の円滑な進捗に努めた。

尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会は、第1回を平成28年5月30日(月)に開催し、歴まち計画の変更及び平成27年度進捗管理・評価について審議を行った。第2回は平成29年3月15日(水)に開催し、平成28年度進捗管理・評価を行った。

歴史的風致活用国際観光支援事業を活用し外国人旅行者の受入体制整備をすすめており、尾道市歴史的風致活用国際観光整備計画を作成する「尾道市歴史文化まちづくり推進協議会」において、整備実績の報告し、整備計画の変更を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催
 - ・第1回:平成28年5月30日開催 議題『計画の変更素案及び平成27年度進捗管理・評価について』
 - ・第2回:平成29年3月15日開催 議題『平成28年度進捗管理・評価について』
- 尾道市歴史文化まちづくり推進協議会の開催
 - ・第1回:平成28年7月8日開催 議題『尾道市歴史的風致活用国際観光整備計画について』

第1回推進協議会(平成28年5月30日)



歴史的風致維持向上計画推進協議会

第2回推進協議会(平成29年3月15日)



《歴まちだよりの発行》
 平成28年5月13日発行【第15号】

- ・街なみ環境整備事業
- ・補助金交付事業
- ・文化財保存事業
- ・歴史的風致活用国際観光支援事業
- など

ページ1

ページ2

尾道市歴史的風致維持向上計画だより

歴史的風致維持向上計画について

主な実施事業の紹介

- 文化財保存事業
- 街なみ環境整備事業
- 補助金交付事業
- 歴史的風致活用国際観光支援事業

尾道市歴史的風致維持向上計画だより(第15号)の掲載写真

第1回推進協議会(平成28年7月8日)

歴史文化まちづくり推進協議会



ページ3

尾道市歴史的風致維持向上計画だより

尾道市歴史的風致維持向上計画だより(第15号)の掲載写真

尾道市歴史的風致維持向上計画だより(第15号)の掲載写真

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 尾道市の景観施策については、平成16年に施行された景観法に基づき、積極的に尾道の景観の保全と創造に取り組んできている。今後とも4点セット(景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例)を基本に景観重要建造物・景観重要樹木の制度の導入等を検討しながら、歴史的風致の維持及び向上の面からも、景観施策に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観条例を施行し、併せて景観計画を旧尾道市・向島町を対象として定め、さらに平成22年4月1日に尾道市全域に拡大して定めている。景観計画においては、景観計画区域内で建築物の新築等の行為を行う場合は、規模等により、あらかじめ市長に届出が必要とするなど、「心に残る尾道の景観」の形成を図ることとしており、引き続き、冊子等により制度への理解を求め周知に努めた。
 ◇平成28年度 届出件数88件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

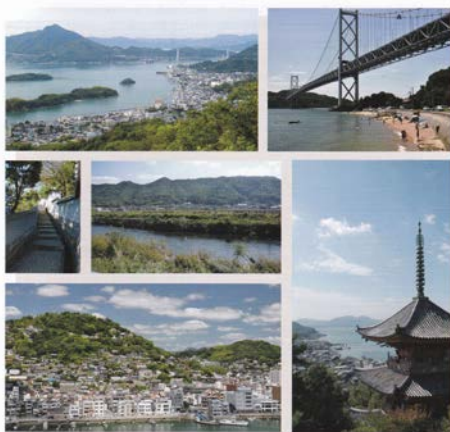
景観計画区域内	
平成年度	届出件数
24	72件
25	64件
26	54件
27	50件
28	88件



景観計画等の制度の概要をまとめた冊子

尾道の景観施策のあらまし

活力あふれ感性息づく芸術文化のまち尾道
 「心に残る尾道の景観」の形成を目指して



尾道市

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度
----	--------	--------

景観地区	現在の状況
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 景観計画で位置づけた重点地区のうち尾道・向島地区については、都市計画で景観地区を定めている。この地区では、建築物等のデザインや色彩を制限するほか、眺望景観を守るために一致の区域で建築物の高さを制限する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観法による景観地区を都市計画に定めた。景観地区においては、建築物・工作物の形態意匠を制限し、建築物の新築等について、規模の大小を問わず、市長に認定申請が必要としている。建築物の高さ制限については、15m、21m、24m、27mに区分し、これらの制限値を超える建築物は、建築確認済証が交付されない。制度への理解を得るとともに、随時パトロールを行い冊子等により認定制の周知に努めた。
 ◇平成28年度 認定件数70件

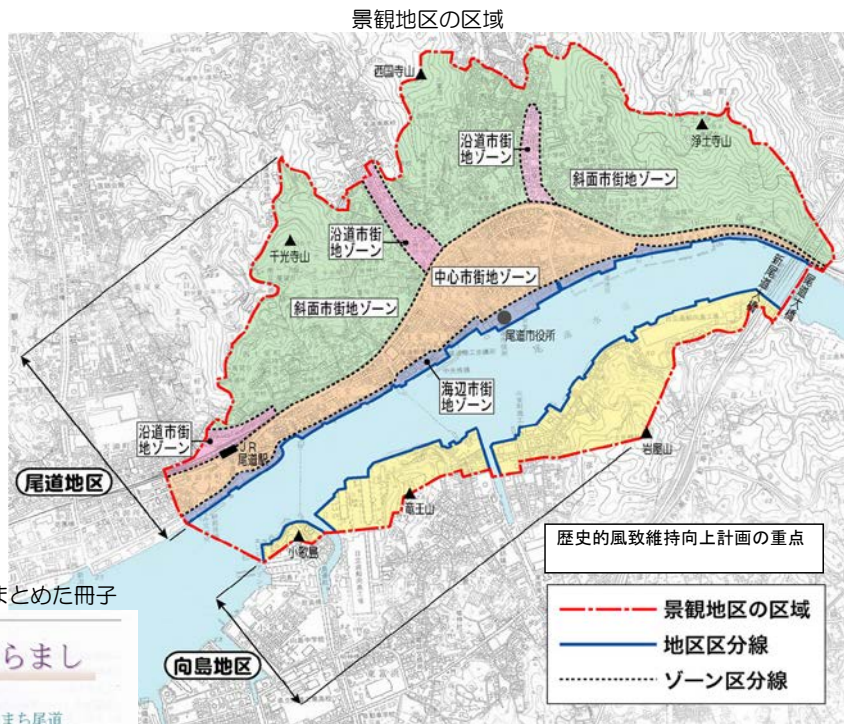
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

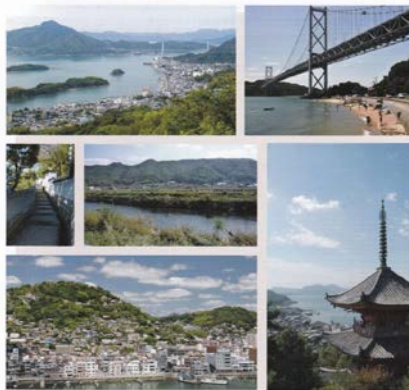
景観地区内	
平成年度	認定件数
24	19件
25	33件
26	64件
27	78件
28	70件



景観計画等の制度の概要をまとめた冊子

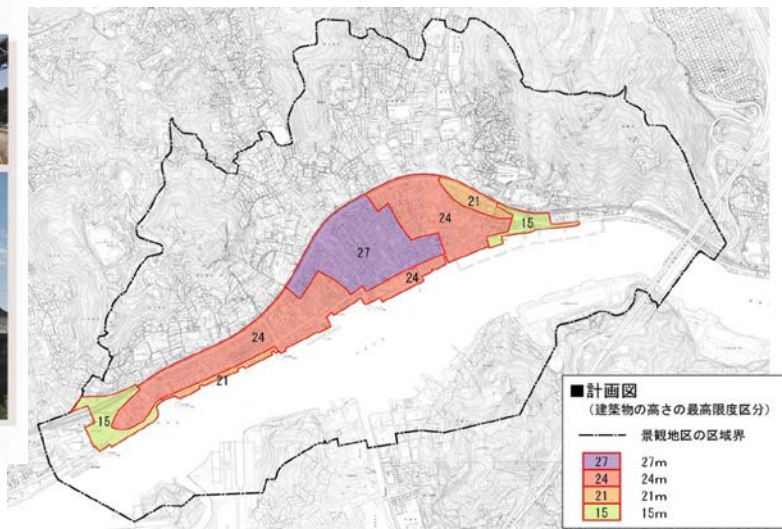
尾道の景観施策のあらまし

活力あふれ感性息づく芸術文化のまち尾道
 「心に残る尾道の景観」の形成を目指して



尾道市

高さの最高限度の区分



評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度
屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容
 ①景観計画区域内の制限: 周囲の景観との調和や建築物との一体性が確保されるように制限を行っている
 ②景観地区内の制限: ①の制限に加え、「屋上広告物は設置できないものとする」などの制限を行っている

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日屋外広告物条例を施行し、必要な規制を定め、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止に努めている。特に屋上広告物の設置が禁止されている景観地区内においては、「尾道市屋上広告物撤去に係る補助金交付制度」を創設し、既存不適格物件の所有者に対して制度を活用した屋上広告物の撤去を継続して要望している。
 ◇平成28年度 制度活用実績1件

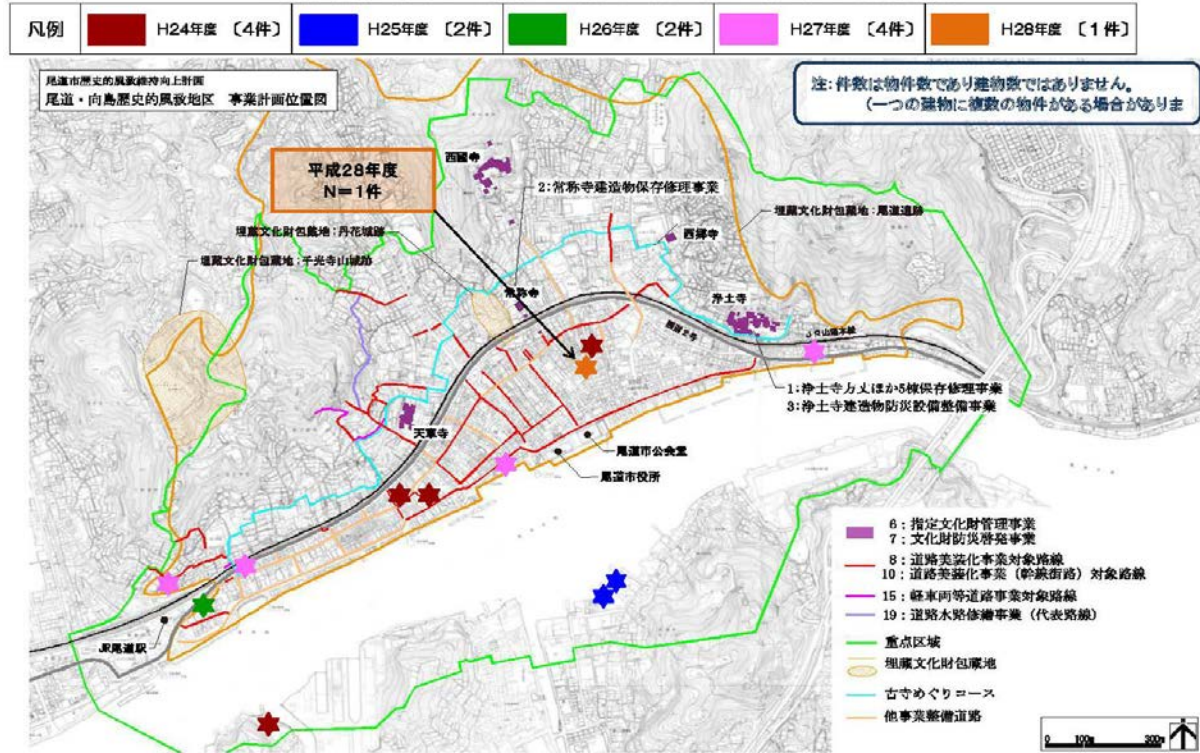
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【屋上広告物の制限に係る撤去補助金交付制度】



整備前



整備後

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
常称寺建造物保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～33年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 老朽化が進んでいる常称寺本堂・大門の保存修理事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度、保存修理に係る設計を行い準備工に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

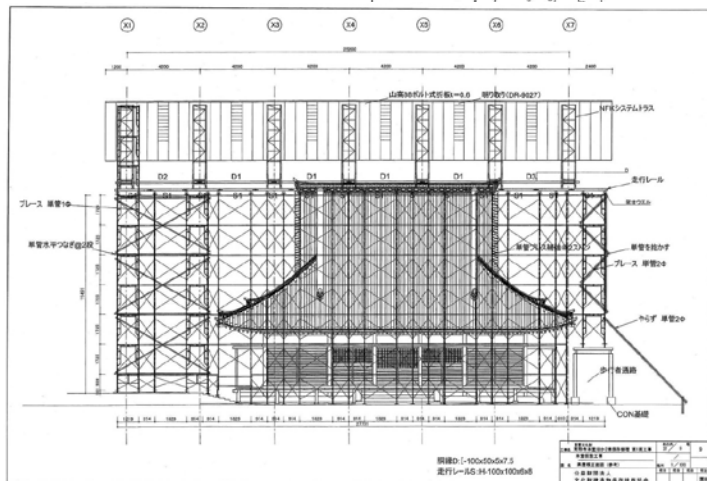
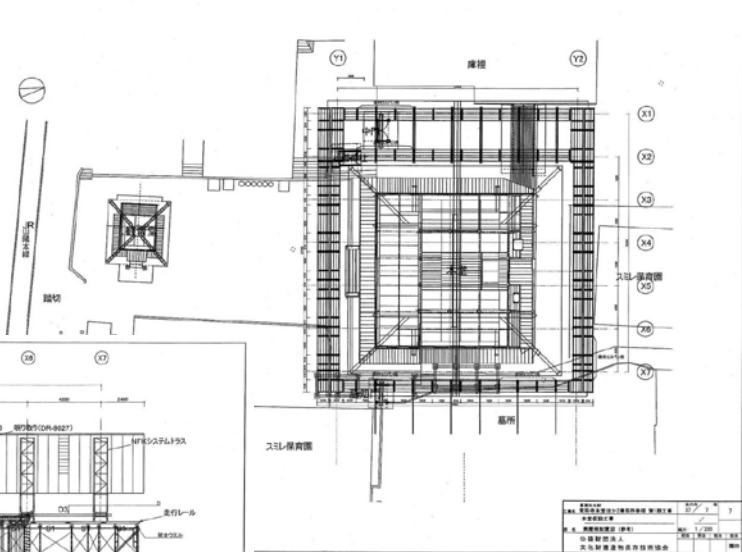
常称寺境内



常称寺本堂(重要文化財)



常称寺大門(重要文化財)



『参考図面』重要文化財
常称寺本堂ほか2棟保存修理
公益財団法人文化財建造物保存技術協会
(尾道市文化振興課提供)

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
まちなみ形成事業		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 個性的で風格のあるまちなみを創出することを目的に、散在する歴史的建造物・工作物(歴史的風致形成建造物を除く)の所有者等が行う、建築当時の形態意匠を再現又は維持することを目的とする建造物の外観の修理、外観変更等の整備に要する経費に対して補助金を交付する。

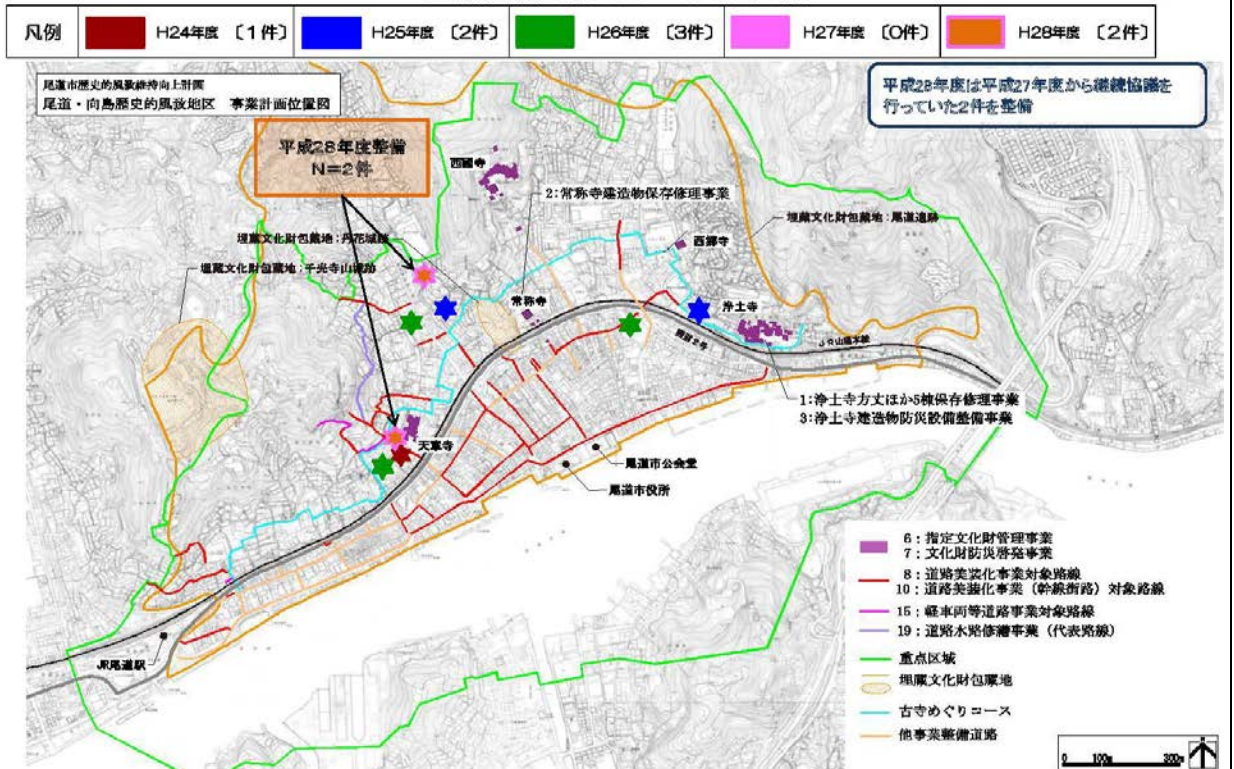
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備に要する経費に対して『尾道市まちなみ形成事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。
平成28年度実績:2件
(工程面、資金面等から平成27年度から継続し協議を行っていた2件を整備した。)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【まちなみ形成事業】



A邸 (整備前)



A邸 (整備後)



B邸 (整備前)

B邸 (整備後)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物修景・修復事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定された建造物の修景や修復のための整備費用に対し補助金を交付する。市が所有する建造物については、市による整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年8月24日に「尾道市歴史的風致形成建造物修景修復事業補助金交付要綱」、「尾道市歴史的風致形成建造物等の公開に関する要領」を制定した。平成27年9月1日付で2件の歴史的風致形成建造物の指定を行い、平成27年度は民間が所有する「みはらし亭」について、「尾道市歴史的風致形成建造物修景修復事業補助金交付要綱」に基づき補助金を交付した。
 平成28年度実績：0件（引き続き指定に向け各施設所有者と協議・調整を行い、修景・修復が必要な施設の把握を行う。）

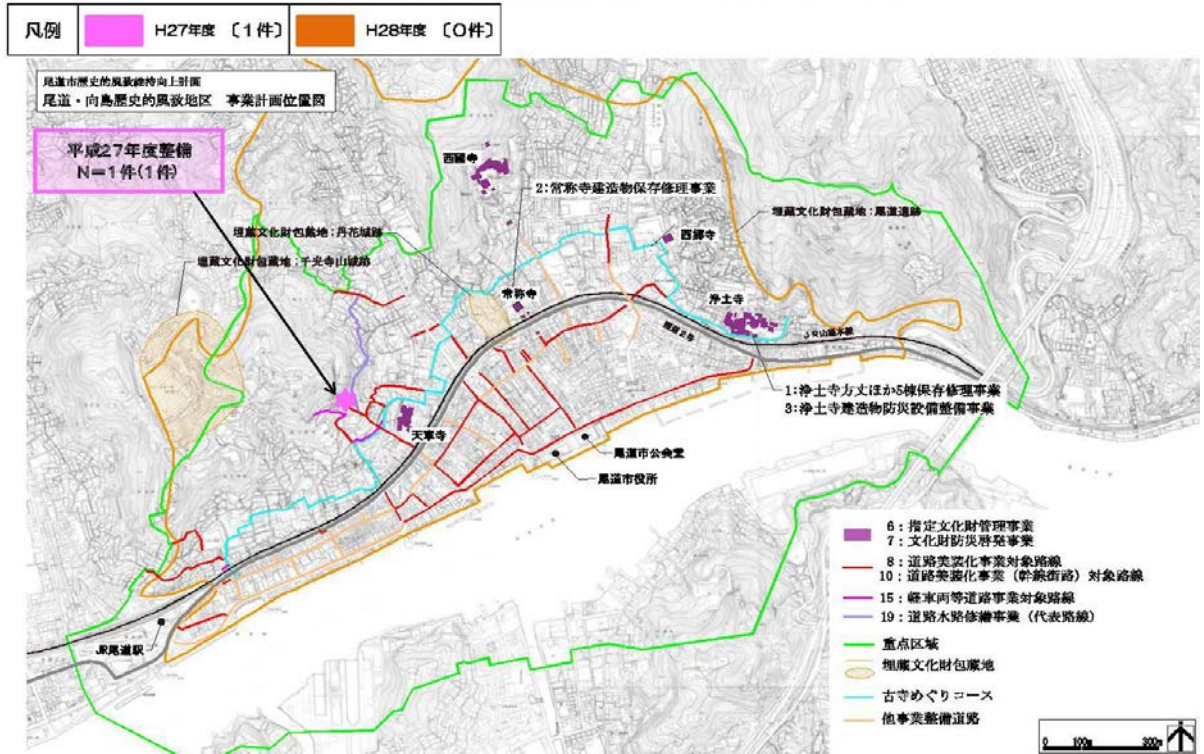
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【歴史的風致形成建造物修景・修復事業】



整備前

平成27年度整備箇所

整備後



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
指定文化財管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和54年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 重要文化財建造物の防災設備が円滑に機能するよう、その点検や維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

対象建造物所有者による防災設備の点検に対し、補助金を交付した。(浄土寺・西國寺・西郷寺・常称寺・天寧寺・向上寺)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

防災設備保守点検状況(浄土寺)



防災設備保守点検状況(西國寺)



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財防災啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	市民の協力を得ながら、文化財を火災等から守るため、文化財と防災に関する意識啓発を図るとともに、定期的・継続的に防災訓練を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の重要文化財所有寺院において、消防局、地域住民合同の文化財防火訓練を実施した。(浄土寺、西國寺、西郷寺、常称寺、天寧寺、向上寺など) また、文化庁のポスター、チラシを配布・掲示し防災意識の向上に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況① [平成29年1月21日：常称寺]			
			
消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況② [平成29年1月21日：常称寺]			
			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
道路美化事業		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 神社仏閣等の歴史的建造物を回遊する小路や斜面地等の散策道において、舗装及び側溝の美化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路美化の全体計画延長はL=5,678mで、旧山陽道(市道本通線:尾道本通り商店街)を中心とし、旧山陽道に並行する「通り」と呼ばれる路線や旧山陽道と交差し斜面地に延びる「小路」と呼ばれる路線の舗装及び側溝の美化を実施する。

平成24年度から整備を開始し、平成28年度も引き続き舗装及び側溝の美化を実施した。

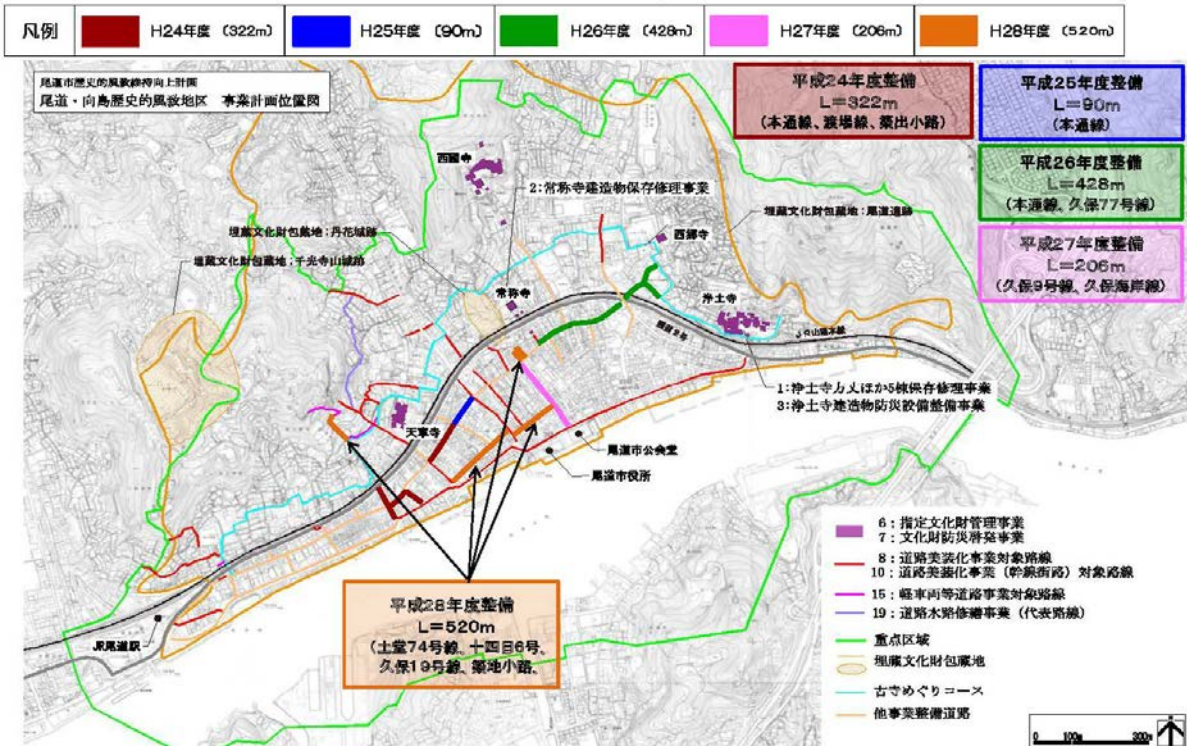
◇平成28年度整備延長 L=520m (実績 L=1,566m/5,678m)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【道路美化事業】



整備前(土堂74号線)



整備後(土堂74号線)



整備前(十四日6号線)



整備後(十四日6号線)



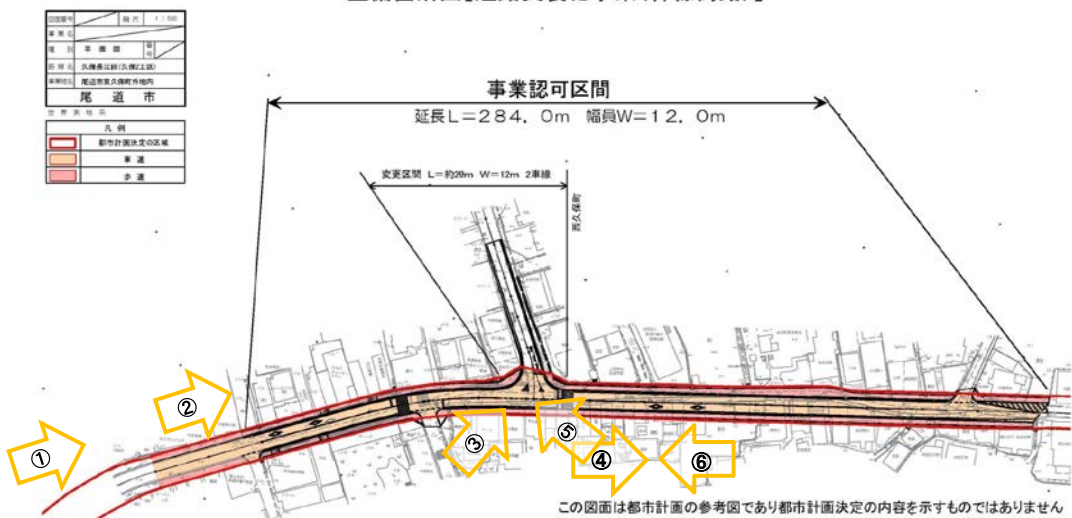
(米場町通り)

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
道路美装化事業(幹線街路)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和59年度～平成33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街路事業)		
計画に記載している内容	旧西国街道にあたる久保長江線の歩道において、舗装の美装化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画法の事業認可(～平成29年度)を受け事業を実施した。平成24年度から用地買収・建物補償等を実施。平成26～27年度は用地買収部分の管理工事(アスファルト舗装等)を実施。平成28年度は引き続き用地買収・建物補償等を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【道路美装化事業(幹線街路)】



状況写真①



状況写真②



状況写真③



状況写真④



状況写真⑤



状況写真⑥



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
沿道建造物等修景事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 新たに美化化を行う道路及び既に美化化された道路や神社仏閣の参道において、その沿道の建造物や工作物の修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

修景整備に要する経費に対して『尾道市沿道建造物等修景事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。
平成28年度実績 12件

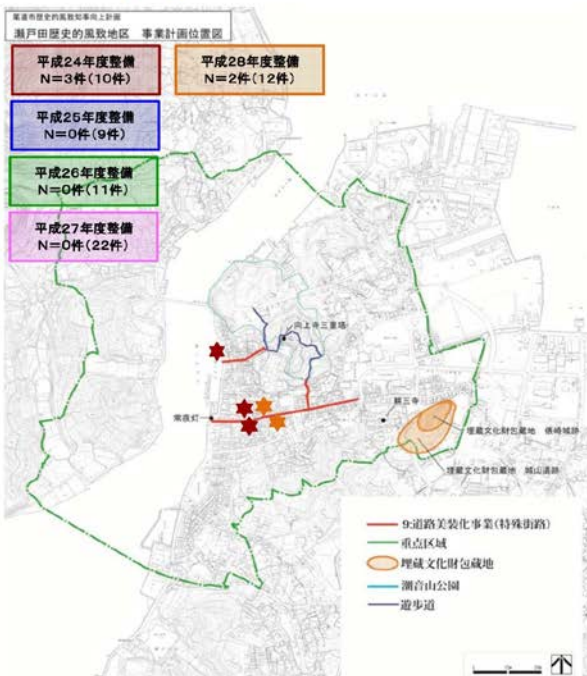
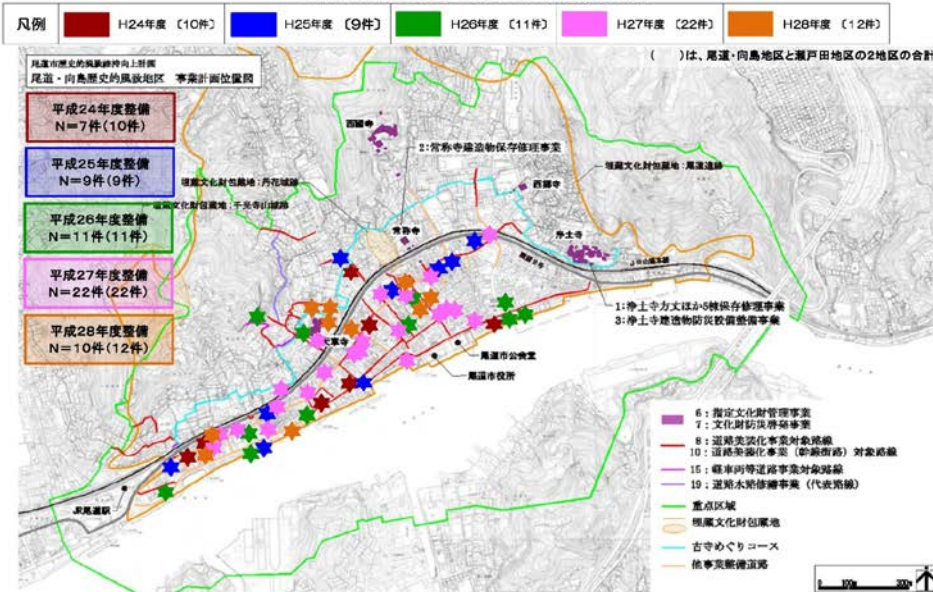
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【沿道建造物等修景事業】



整備前



整備後

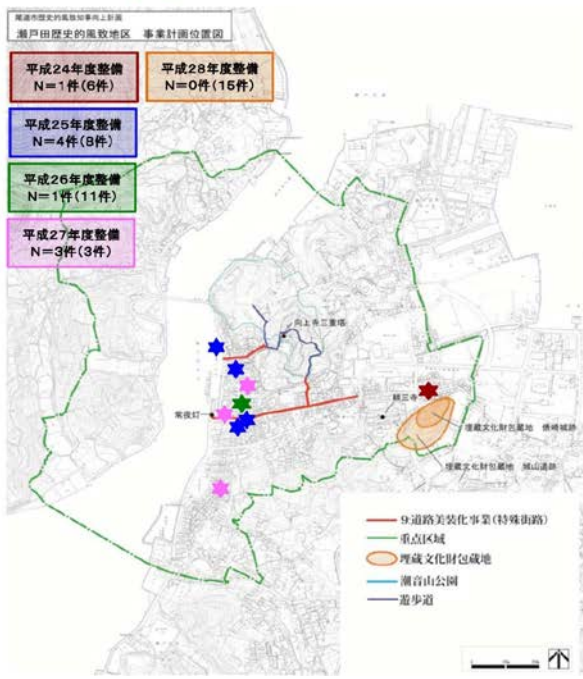
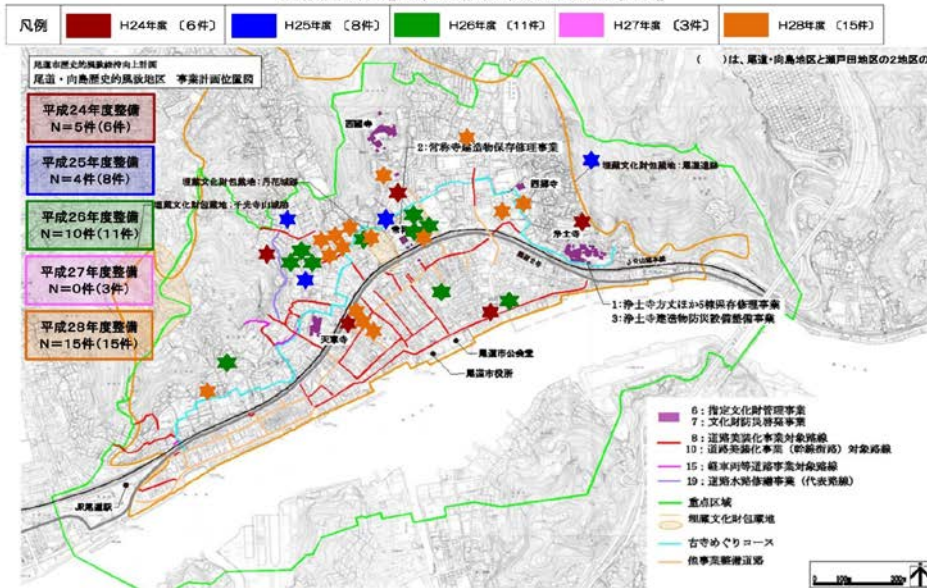


評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
老朽危険建物除却促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	良好な景観の形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適正に管理されていない老朽危険建物の除却に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
除却に要する経費に対して『尾道市老朽危険建物除却促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。 平成28年度実績 15件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【老朽危険建物除却促進事業】



整備前



整備後

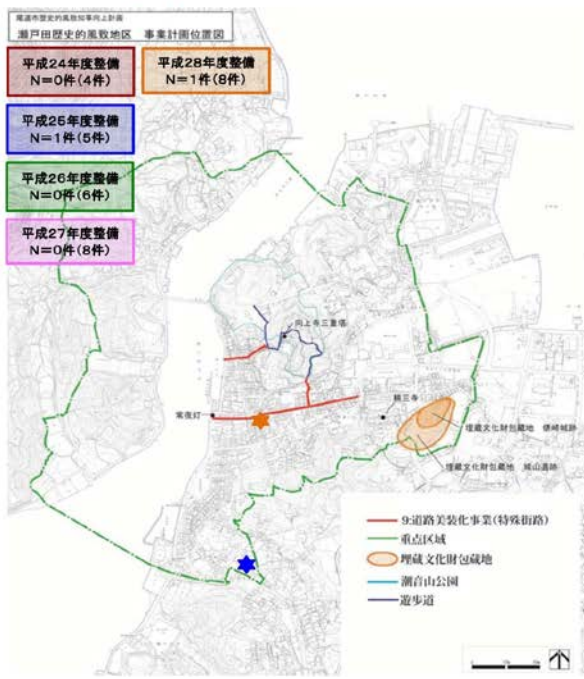
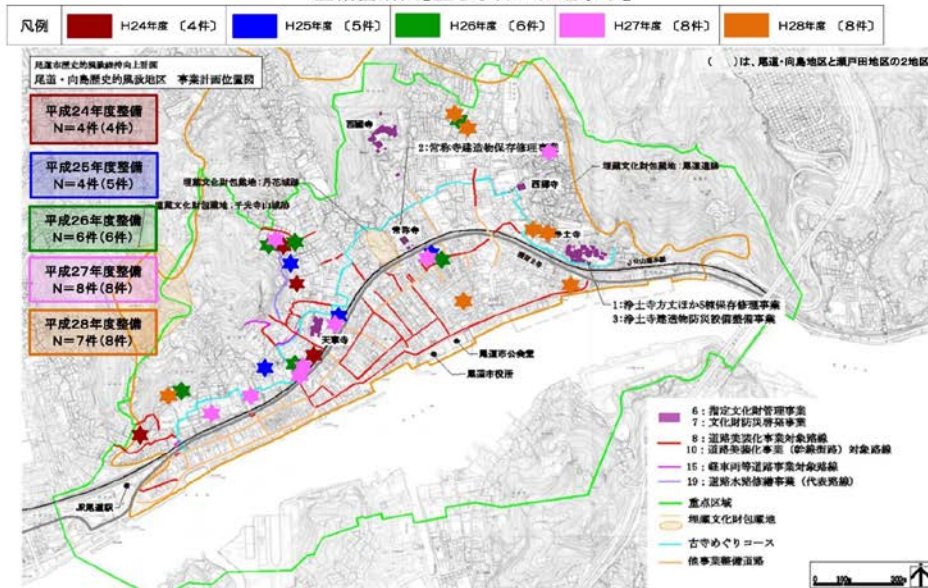


評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
空き家再生促進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	空き家の有効利用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家の再生に必要な改修に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
再生に要する経費に対して『尾道市空き家再生促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。 平成28年度実績 8件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【空き家再生促進事業】



整備前



整備後



評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	夜間景観形成事業	評価対象年度	平成28年度
現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成24年度～33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	夜間の安全な通行と夜間景観の形成の促進を図ることを目的に、歴史的な背景を持つ街並みに調和したデザインの街灯等の設置を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

夜間景観がより魅力的なものとなるよう整備を進めていくため、「個性」「観光」「生活」の3項目を基本的な柱とした「尾道市夜間景観整備基本構想」を策定し、整備に向け2路線の整備を行った。
平成28年度実績 調査設計L=81.6m(持光寺下L=38.4m、宝土寺下L=43.2m)

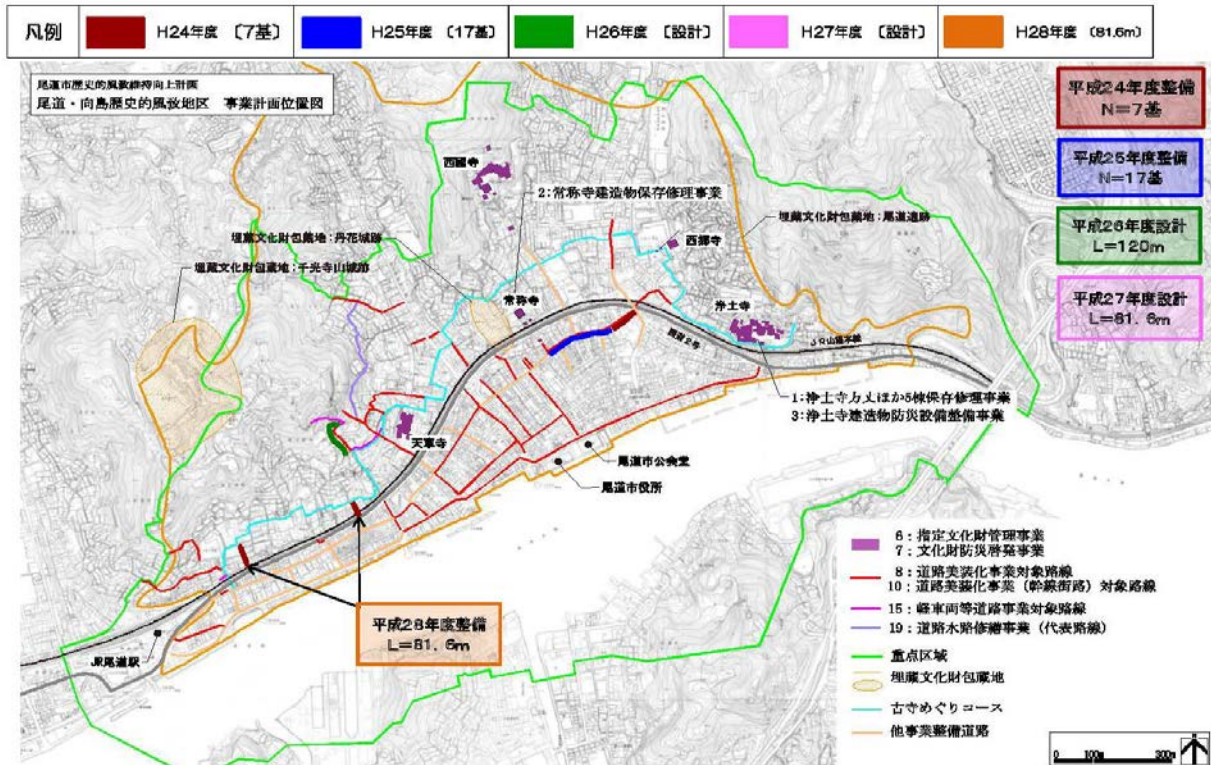
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【夜間景観形成事業】



整備箇所[視点場の検討図]



持光寺
石段照明

宝土寺
石段照明

整備前



整備前



整備後



整備後



評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

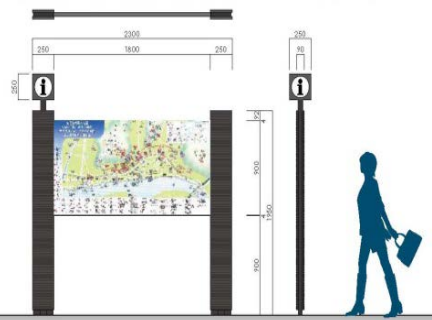
項目		評価対象年度	平成28年度
総合案内板設置事業			現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成27年度～28年度		
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業		
計画に記載している内容	重点区域内全体の情報発信を多言語表示(日本語、英語、韓国語、北京語、広東語の5言語)で行う総合案内板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度実績:[総合案内板]新設7箇所、既設盤面の付替2箇所 計9箇所 平成28年度実績:[案内プレート 既設案内石柱:4箇所8本] 21枚 ※案内プレート:総合案内板を補完する役割の既設案内石柱に設置する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【総合案内板設置事業】



総合案内板 設置イメージ



総合案内板 【大型】



総合案内板 【中型】



案内プレート サイン原稿

案内プレート 石柱への設置イメージ



総合案内板
【盤面付替】

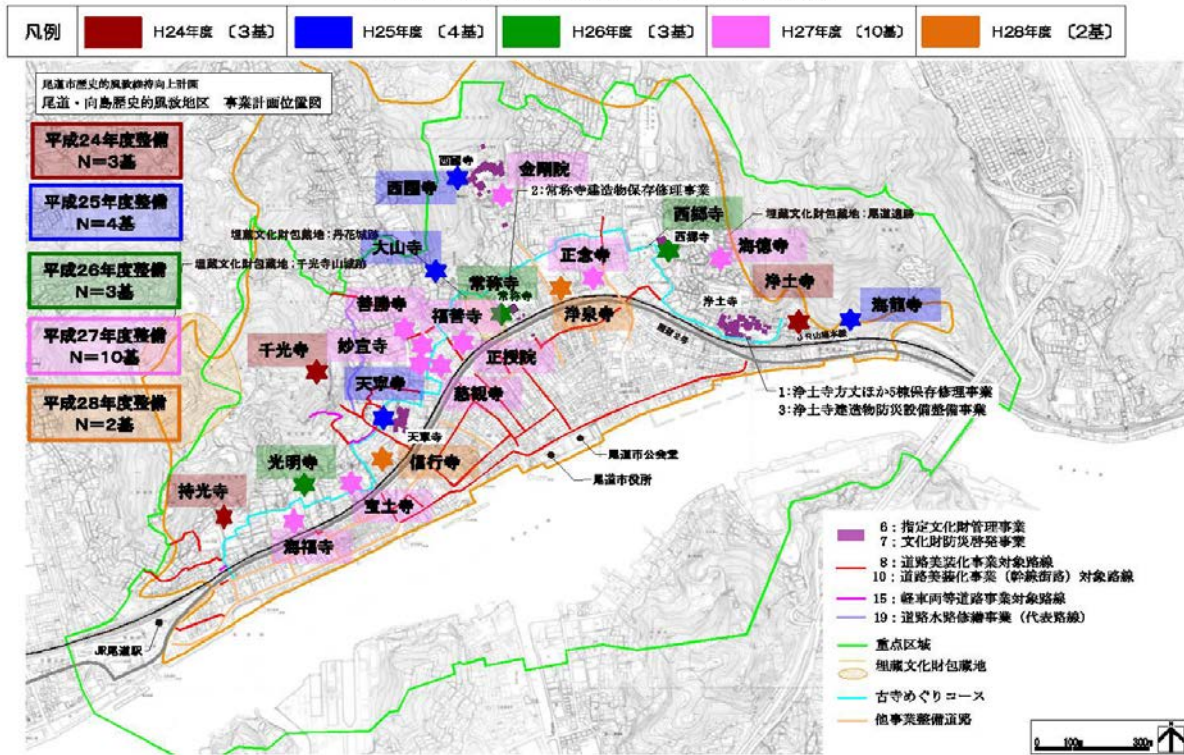


評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
多国語音声設備設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～33年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業) 平成27年度～【歴史的風致活用国際観光支援事業】		
計画に記載している内容	神社仏閣等や観光施設等において、海外からの観光客にも対応可能な多国語の音声システムを備えた設備を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
尾道市における観光分野において、多大な協力のある宗教法人に承諾を得て順次設置を進めた。 平成28年度実績 N=2基			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【多国語音声設備設置事業】



整備後(信行寺)



整備後(浄泉寺)

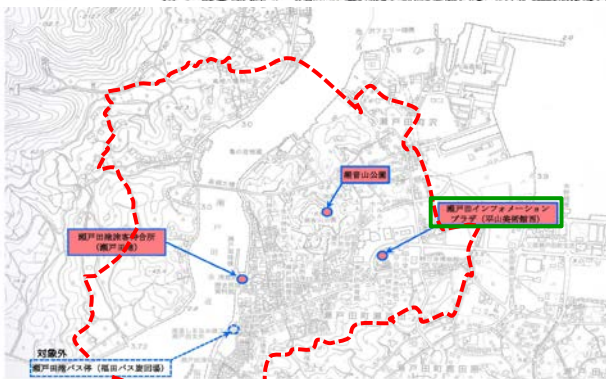
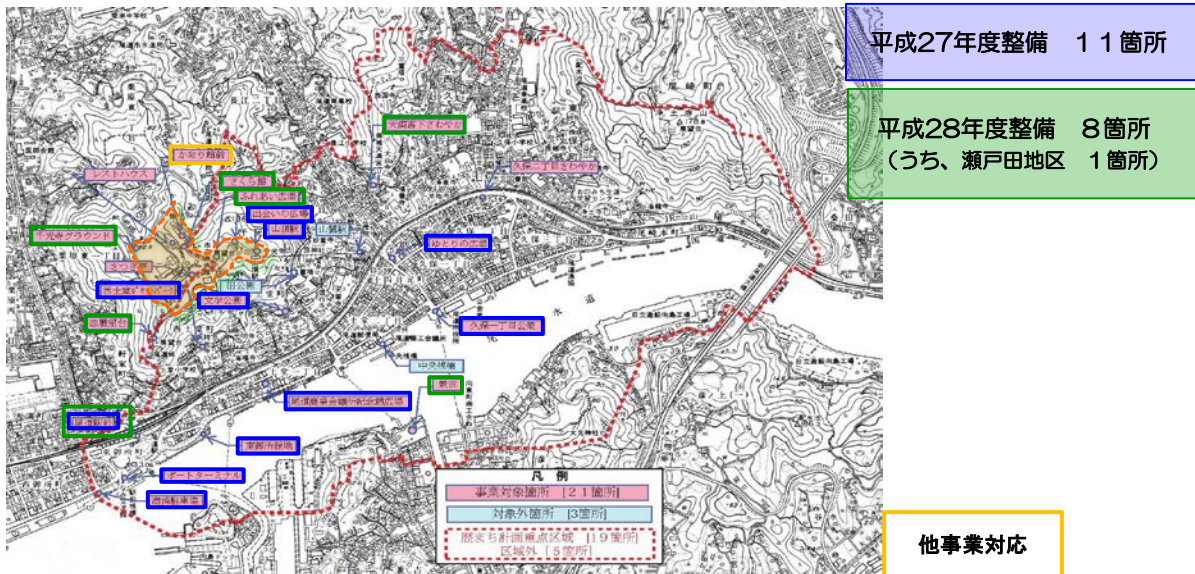


評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

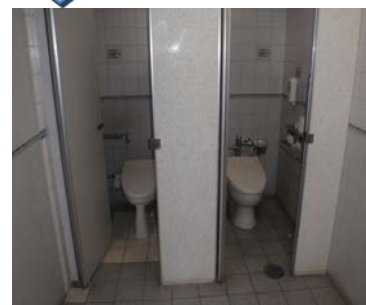
項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
便所洋式化改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～28年度		
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業		
計画に記載している内容	観光案内所及び休憩所等の利便施設内和式便器の洋式化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度実績 11箇所〔尾道・向島地区11箇所〕 平成28年度実績 8箇所〔尾道・向島地区7箇所、瀬戸田地区1箇所〕 ※部分施工箇所は重複して箇所に計上している			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備箇所図【便所洋式化改修事業】



和式⇒洋式ウォシュレット



洋式⇒洋式ウォシュレット

整備前



整備後



整備前



整備後



評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
歩行者安全対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～33年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 坂の多い尾道市において、市民や観光客の円滑な歩行を補助するため、周囲の歴史的な背景を持つ街並みに調和した新たなデザインの手すりを設置する。また、劣化している手すりについても、同様なデザインへの更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路水路修繕事業に合わせ地域住民の要望に基づき、街並みに調和したデザインの手すりを設置した。
平成27～28年度 L=125m

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備前



整備中



整備後



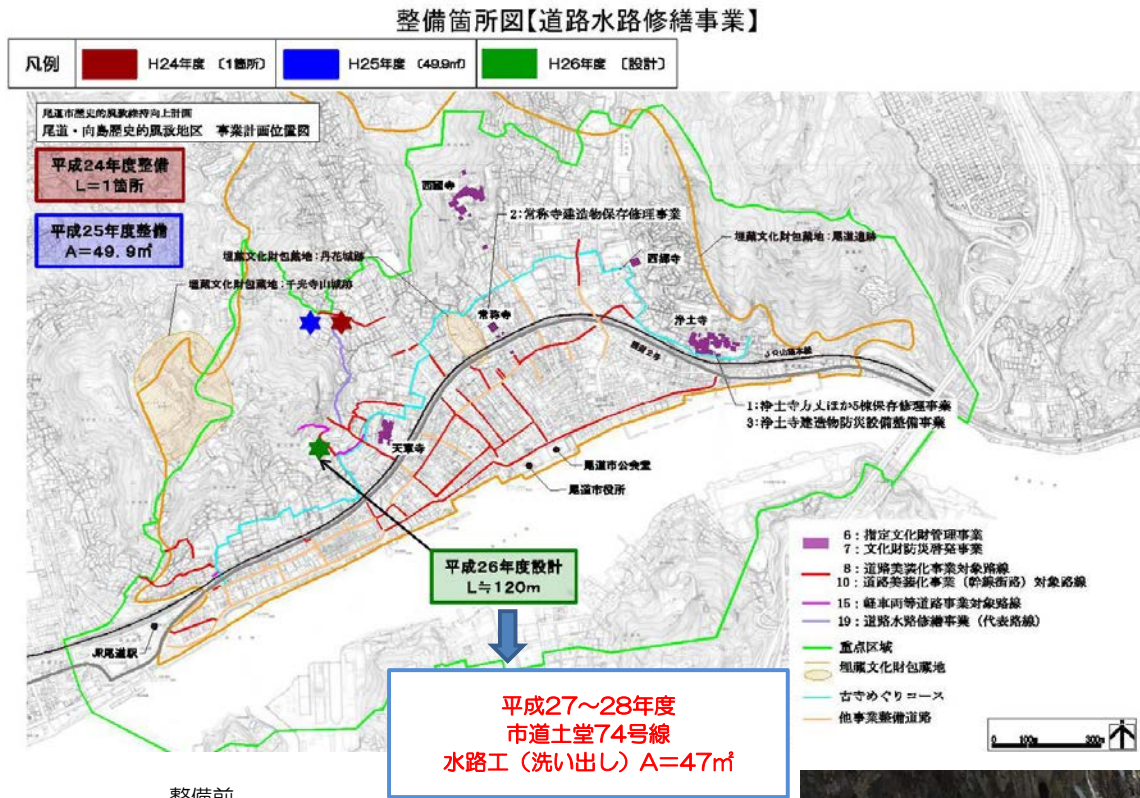
計画図(市道土堂74号線)



評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
道路水路修繕事業		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～33年度		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	坂の多い尾道市において、市民や観光客の安全な歩行のために、劣化によって構造的に安全面の問題があるものや美観が損なわれている階段及び水路等の修復を行い、街並み景観の形成の促進を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
斜面地の通称「千光寺新道」において、道路美装化、街灯と併せて水路修繕について整備を行った。 平成27～28年度 洗い出し水路A=47㎡			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



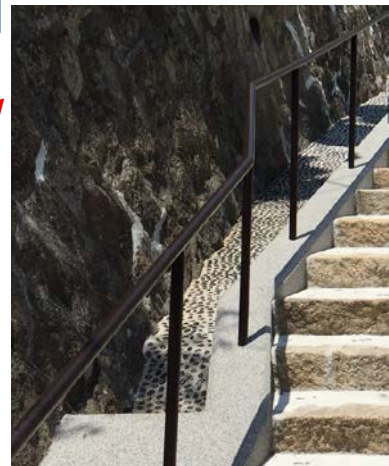
整備前



整備後



拡大



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
文化財調査・研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	文化財総合的把握モデル事業(平成20年度～22年度)を継承する形で、計画的・継続的に文化財の調査・研究を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内美術工芸品、石造物の詳細調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
美術工芸品調査の状況			
			
仏像調査の状況			
			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
郷土芸能祭開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	尾道市内の神楽や鉦太鼓踊り、太鼓等の民俗芸能を市民に披露し、民俗芸能の普及及び顕彰に努める。重点区域をはじめ尾道市における郷土芸能を広く紹介するとともに、普及・啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郷土芸能祭を尾道みなと祭にあわせて開催した。 ◇平成24年度:平成24年4月28日～29日 ◇平成27年度:平成27年5月2日～5月3日 ◇平成25年度:平成25年4月27日～28日 ◇平成28年度:平成28年4月23日～4月24日 ◇平成26年度:平成26年4月26日～27日			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

民俗芸能の祭典(しまなみ交流館)



4月23日(土)

- 11:00～ 開会セレモニー
- 11:40～ 尾道市立立居屋敷元えいじゃん披露
- 11:40～ 尾道市立立居屋敷元えいじゃん披露
- 15:00～ えいじゃんSANSА(がり)踊り披露
- 19:50～ 鉦踊り
- 20:10～21:00 えいじゃんSANSА(がり)披露式

4月24日(日)

- 10:00～ 公立保育園・認定こども園・法人立保育園 鑑賞 えいじゃん披露
- 10:30～ えいじゃんSANSА(がり)踊り披露
- 15:30～ 鉦舞披露
- 16:15～17:00 フィナーレ「バッチャーサンバ」

広報おのみち(平成28年4月号:P32)


7期10期製作の地区民衆舞子(今春は、ふもと海浜町でも神楽やパレードが、10.この分限同様でそれいかに開催しています。11.舞や全体的な観望。12.足やそのた意気込みを盛り込む。春の夜祭型。13.はつらつとしたパフォーマンスが盛り込まれた。14.えいじゃんSANSА(がり)2日目の小学生部門では、元氣いっぱい観望の観望が観望した。

15.観望ステージでは尾道の交代式が、これら2日間、観望の行事を盛り込んで観望が観望した。

広報おのみち(平成28年6月号:P29)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
史跡等総合活用支援推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	埋蔵文化財の整理・情報公開・データベースの整備・出張展示会、講演会の開催を行う。 特に、重点区域(尾道・向島歴史的風致地区)では、尾道遺跡に関する資料・データ等の整理、情報公開、啓発等に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇出張展示会「尾道 塩の道」:平成25年1月12日～1月27日(会場＝おのみち街かど文化館)[参加者数 1,840名] ◇出張展示会「尾道の石造と石工」:平成25年8月9日～9月1日(会場＝おのみち街かど文化館)[参加者数 3,780名] ◇出張展示会「荒木村重、備後尾道に落ちる」:平成26年9月13日～10月19日(会場＝尾道市立中央図書館市民ラウンジ) (参加者数未計測) ◇出張展示会「瀬戸内の覇者村上水軍と港町尾道」:平成27年7月31日～平成28年1月28日(会場＝因島水軍城) [参加者数 17,965名] ◇出張展示会「よみがえる村上海賊の記憶」:平成28年7月29日～平成28年12月14日(会場＝因島水軍城) [参加者数 19,562名]			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
出張展示会「よみがえる村上海賊の記憶」			
			

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財愛護少年団事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和43年度～		
支援事業名	平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	文化財愛護少年団の歴史は長く、毎年小中学生を対象に「文化財愛護少年団学習会」を様々な形で開催し、文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。 今後とも、文化財愛護少年団活動に対する普及・啓発を図りながら、参加を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財愛護少年団事業学習会 ◇平成24年度:全7回(7月1日、7月30日～31日、8月18日、9月15日、11月10日、2月23日、3月24日)〔延べ参加者数 335名〕 ◇平成25年度:全7回(6月30日、7月29日～31日、8月17日、10月19日、11月16日、2月22日、3月29日)〔延べ参加者数 307名〕 ◇平成26年度:5回(7月5日、7月28、30日、8月16日、8月28日、11月15日)(延べ参加者数 197名) ◇平成27年度:全10回(7月11日、27、28日、8月2日、23日、10月4日、18日、25日、11月8日、2月27日、3月30日) 〔延べ参加者数 269名〕 ◇平成28年度:全6回(7月16日、25、26日、8月21日、11月6日、12月3日、2月12日) 〔延べ参加者数 292名〕			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(平成28年7月16日①)



文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(平成28年7月16日②)



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財講座開催事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成14年度～

支援事業名 平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業
 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

計画に記載している内容 尾道市全体やそれぞれの地域、共通するテーマ等で、文化財や歴史に関する講演会等を開催している。
 今後とも、尾道市の文化財および歴史に関する講演会等の開催を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財講座開催事業 ◇平成24年度: ・平成24年 8月26日[参加者数148名] ・平成24年12月20日[参加者数41名]
 ・平成25年 2月21日[参加者数 92名] ・平成25年 3月14日[参加者数82名]
 ◇平成25年度: ・平成25年12月13日[参加者数 72名] ・平成26年 2月27日[参加者数81名]
 ◇平成26年度: ・平成26年10月18日[参加者数73名]
 ◇平成27年度: ・平成27年8月8日[参加者数40名] ・平成28年1月23日[参加者数110名]
 ・平成28年3月4日[参加者数70名]
 ◇平成28年度: ・平成28年7月2日[参加者数一名] ・平成28年9月4日[参加者数100名]
 ・平成29年2月24日[参加者数33名]

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

文化財講座の開催状況(平成28年9月4日)



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

民俗芸能等支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間 昭和43年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容
 尾道市において文化財指定を受けている民俗芸能の活動を支援し、文化財の保存・継承や地域の活性化を促進する。また、尾道市には未指定の無形民俗文化財(民俗芸能)も多数あり、その担い手・後継者の確保や開催の支援を検討する。さらに、民俗芸能の調査や記録、情報発信等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

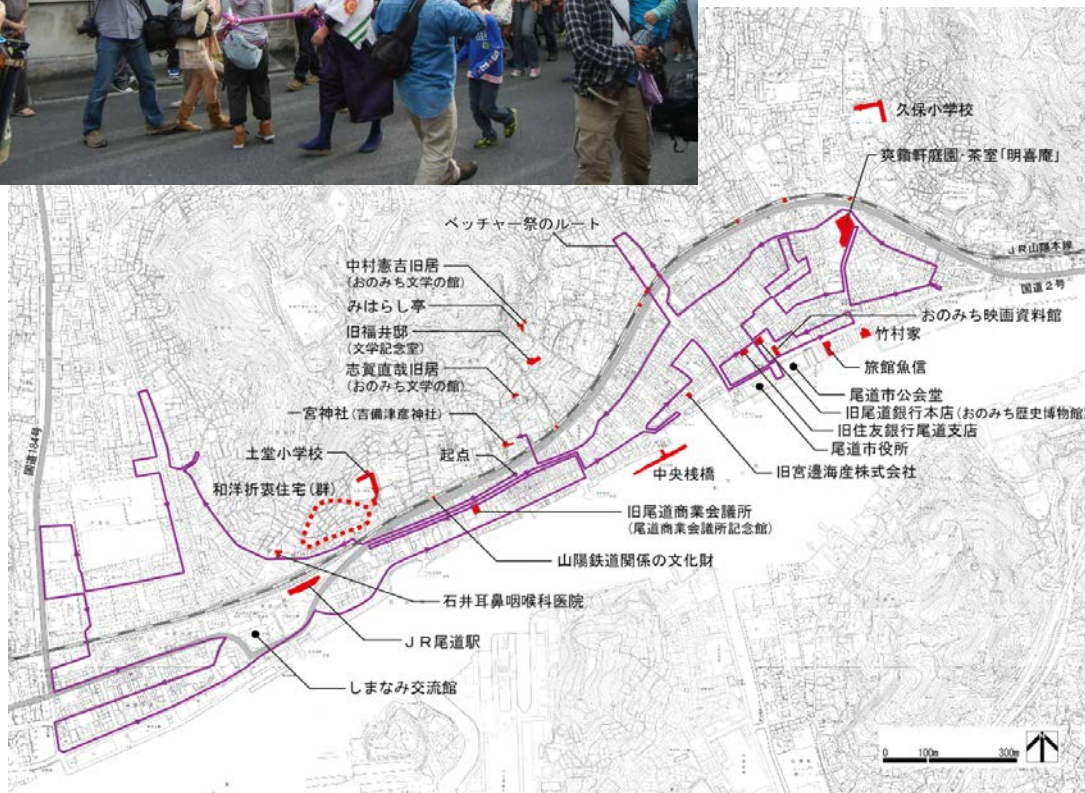
文化財保存事業として、民俗芸能団体に補助金を交付した。
 (補助金対象＝県及び市指定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

補助金を交付した民俗芸能事例(バッチャー祭り)



バッチャー祭りのルート(平成23年)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

尾道歴史文化読本作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間 平成24年度～

支援事業名 平成24年度:文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
 平成25～26年度:地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業
 平成27年度～:地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

計画に記載している内容 尾道市では、文化財愛護少年団活動や学校教育等を通じて、小さいころから文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。こうした取り組みを継承・発展させるため、尾道市の学校教育(小学校中学年～中学生を主対象)における歴史読本の作成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◇平成24年度 埋蔵文化財広報冊子「尾道の歴史と遺跡 近世編」500部刊行、配布
- ◇平成25年度 埋蔵文化財広報/パンフレット「発掘 尾道遺産 御調編」3,000部刊行、配布
- ◇平成26年度 埋蔵文化財広報/パンフレット「発掘尾道市民遺産 街道編」3,000部刊行、配布
- ◇平成27年度 埋蔵文化財広報/パンフレット「尾道の歴史と遺跡 瀬戸内の覇者 村上海賊」3,000部刊行、配布
- ◇平成28年度 埋蔵文化財広報/パンフレット「尾道近世遺跡 北前船と港町尾道」3,000部刊行予定

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
近代化遺産活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	尾道市では、バスを利用して市内各地の近代化遺産をめぐる取り組みを行っている。今後とも、関係権利者・管理者の理解と協力を得ながら、近代化遺産の公開の促進に努めるとともに、「近代化遺産めぐり」などの開催を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇平成24年度:近代化遺産めぐり	平成24年12月1日	参加者数35名	
◇平成25年度:近代化遺産めぐり	平成26年 3月1日	参加者数49名	
◇平成26年度:近代化遺産めぐり	平成26年9月21日	参加者数33名	
◇平成27年度:近代化遺産めぐり	平成27年8月23日	参加者数13名	
◇平成28年度:近代化遺産めぐり	平成29年2月12日	参加者数80名	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

平成24年度：近代化遺産めぐり



平成25年度：近代化遺産めぐり



※文化財めぐり事業（島々の文化遺産めぐり）と併せて実施

平成26年度：近代化遺産めぐり



平成27年度：近代化遺産めぐり



平成28年度：近代化遺産めぐり



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財の調査に関する事項	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地元調査員による有形文化財(建造物)、民俗文化財、歴史的景観(小景観:狭い範囲の景観)の調査、及び専門家による美術工芸品(仏像)、民俗芸能、歴史的建造物の調査を、市内全域の統一基準で実施しており、継続してその他の分野でも市内全域を対象とした文化財調査の実施に努める。
 また、文化財調査の際には、市民参加型の調査を行い、郷土の文化財への理解と愛護精神の高揚を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財調査・研究事業(評価軸③-17:P21)を参照
 ○近代化遺産調査・研究及び保存・活用検討事業

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-17:文化財調査・研究事業:P21 ①



③-17:文化財調査・研究事業:P21 ②



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
文化財の修理に関する事項	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市内の文化財の状況を見ると、緊急性を要する文化財が多数見受けられ、指定文化財については、その損傷具合や緊急性を考慮し、修理事業を実施している。特に重要文化財の建造物は、その建築年代が古いことから、緊急性を要するものが多い。また、美術工芸品についても、修理の必要がある場合には、その状況を把握し、修理計画を作成することが求められる。ただし、美術工芸品の場合、その保管状況や防犯体制についても考慮する必要があるため、教育委員会は、文化財所有者にその指導助言を継続的に行う。
 文化財の修理は、歴史的真正性を損なうことなく、適切な修理及び整備を実施するとともに、市民に理解を得られるよう適宜公開する機会を設け情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財等保存修理事業＝常称寺建造物保存修理事業(評価軸③-1:P5)を参照
- 文化財保存事業

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

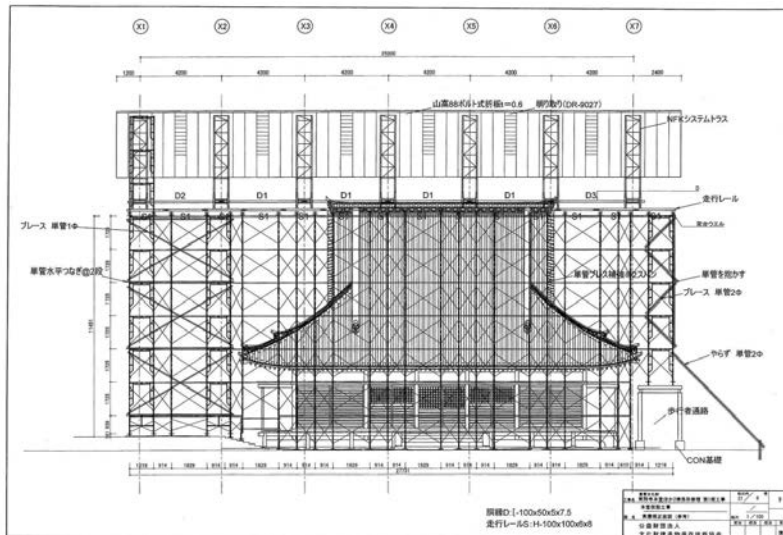
状況を示す写真や資料等

③-1：常称寺建造物保存修理事業：P5

常称寺本堂(重要文化財)



常称寺大門(重要文化財)



【参考図面】公益財団法人文化財建造物保存技術協会(尾道市文化振興課提供)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財の防災に関する事項	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 特に建造物は、被害を受けやすく、修理に多大な時間と費用を必要とするため、防災対策を万全にし、被害を未然に防ぐこと、被害を最小限にとどめることが重要であり、防災設備の設置と点検を推進する。
 また、従来の文化財の防災対策は、指定文化財に限定されることが多く、指定文化財以外の文化財や文化財の周辺環境に対しては、同様の防災対策はとられていないのが現状である。これらについては、指定文化財と同様の対策をとるのではなく、その状況に応じた防災対策を練る。そのためには、各地域の防災組織と情報交換を行い、文化財をとりまく地域ぐるみの防災体制の構築に努める。
 また、防災だけでなく、防犯対策も必要であり、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の適切な保存・活用のため、文化財所有者及び地域住民の防災意識を高め、文化財防災設備点検等を行う文化財管理事業を継続的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財建造物防災設備整備事業
- 指定文化財管理事業(評価軸③-4:P8)を参照
- 文化財防災啓発事業(評価軸③-5:P9)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-4：指定文化財管理事業：P8



③-5：文化財防災啓発事業：P9



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
文化財の継承の仕組みに関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財への関心と理解を高めていくため、子どもから高齢者まで、それぞれの関心や状況等に応じた文化財の啓発や学習・体験機会の確保に努める。
 さらに、指定文化財または国登録文化財ではないものの中から、市民自らが価値や魅力を再認識して、残したい歴史文化資源として登録する(仮称)尾道市歴史文化資源市民登録制度の創設に取り組む。また、歴史文化資源が市民によって大切にされ、生かされ、次代に伝えていけるよう、市民や関係団体と協働しながら、啓発や情報提供、保存・活用の活動支援に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 史跡等総合活用支援推進事業(評価軸③-19:P23)を参照
- 文化財愛護少年団事業(評価軸③-20:P24)を参照
- 文化財講座開催事業(評価軸③-21:P25)を参照
- 登録有形文化財推進事業
- 民俗芸能等支援事業(評価軸③-22:P26)を参照
- 尾道歴史文化読本作成事業(評価軸③-23:P27)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-19: 史跡等総合活用支援推進事業: P23



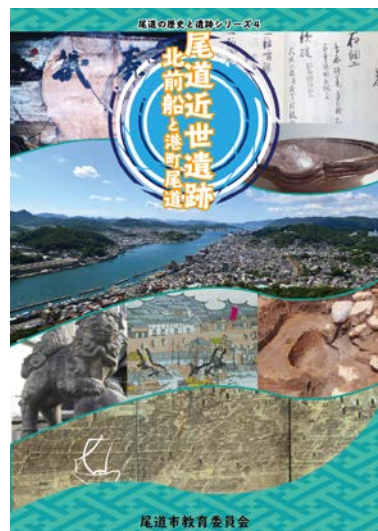
③-22: 民俗芸能等支援事業: P26



③-20: 文化財愛護少年団事業: P24



③-23: 尾道歴史文化読本作成事業: P27



③-21: 文化財講座開催事業: P25



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
文化財の活用に関する事項	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の保存・活用及び文化財を生かしたまちづくり等に関わる組織の設立や育成と支援を行うとともに、それらが連携し、協働による事業等を企画・推進する体制づくりに努める。また、組織への市民等の参加を促進するとともに、担い手の育成支援に努める。
 文化財と市民をつなぐ体制づくりが必要であり、市民参加型の様々な事業の実施を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財めぐり事業(評価軸③-24:P28)を参照
- 近代化遺産活用事業(評価軸③-25:P29)を参照
- 文化施設ネットワーク事業(評価軸③-26:P30)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

③-24：文化財めぐり事業：P28



③-26：文化施設ネットワーク事業：P30

尾道商業会議所記念館 第26回企画展示解説
 2015年1月30日～2015年2月27日
 テーマ 尾道あ・ら・かもと～しまなみ企業家列伝～

中世の時代から商港としての歴史を誇る尾道は、古くから商人が活躍してきた町であり、とりわけ江戸時代後半から近代にかけては、豪商と呼ばれる大商人も多く登場しました。そうした商業盛んな商人の町としての尾道は、また一方で、尾道から大きく目を引いた企業家(会社の経営者)も多く輩出しています。

古くして大阪へ出て了庵公に学び、徳富重隆は水運道楽の製造に能力を凝らし、研究努力の末に国産化に成功。後に農業・工作機械で有名な「タガタ」創業者となる久保田健四郎(現健四郎、尾道市名誉市民)も、健四郎の同族の研究熱心さでメカニクスに傾き、尾道に工場を設け、大坂商工会議所会館として地域経済にもその手腕を發揮した小田原大造(向東出身)も、小卒の職人で大一生徒を、当時を目前に「秘伝伝授」という新役割を習得せんと大坂へ出、ここから「秘伝」の精神と並行する形でこれを、工場創業後も熱心に研究を続け、新製法を發明しての特許、3つの実用新案を獲得した健三(後に熊野田に健三寺を開いた、尾道市名誉市民)も

本邦において、久保田健四郎、小田原大造、健三寺健三の名を挙げ上げ、尾道出身、或いは尾道にゆかりのある先人企業家の先駆と業績を紹介しながら、企業家(企業家)精神(アントレプレナーシップ)の発展を促すと共に、その高い志とチャレンジ精神、創意工夫、努力と困難を克服する勇気と果敢を、とけかけ言葉・存続の皆さんに学びたいと思っています。

久保田 健四郎 (くぼた けんしろう)
 生誕 1870年(明治3年)12月(尾道市尾道) 没 1957年(昭和32年)12月(尾道市尾道)
 尾道市名誉市民

小田原 大造 (おだわら たいぞう)
 生誕 1870年(明治3年)12月(尾道市尾道) 没 1957年(昭和32年)12月(尾道市尾道)
 尾道市名誉市民



尾道企業家 久保田健四郎

農業機械、製糖などで有名な企業「アボタ」(本社・大阪府)創業の父久保田健三に生まれ、久保田健四郎(健三)で、健四郎は子どもの時から父の事業精神に感服し、親子で働きながら父の事業を継いで、いつかは自分の手で大きな事業を作りたいと思っていました。

新しい農業で奮闘していた父親を案じてやりたいと、15歳で大阪へ了庵公に出ました。そこで高田に機軸を譲り、その間にアボタを父の事業を元手に、19歳で科の会館などを創設する「大出建物(現・大出建物)」を創設しました。店は大坂市開く、現在の中央区。

1897(明治30)年、それまで国内では技術力が不足、外国製の輸入に頼らしかかった水運道楽の精製機(合わせ目のない大型の直管の水運機)の製造研究に、健四郎は能力を発揮しました。研究に研究を重ね、何となくの力で中々進歩という勇気と努力が取り、遂に立法と製造法を完成し、水運道楽の国産化に成功したのです。3年後の1900(明治33)年に完成化。やがて、外国産に負けず健四郎が大量生産されるようになります。大阪、東京の水運道楽・ガス管として広く普及していき、それによって会社が大きく成長していく中、研究所であった久保田健四郎は引退して養子となり、以後「久保田健三(現・現色の株式会社アボタの前身)」に社名が改められました。

精製機などの事業は更に拡大し、農業機械、工作機械などの製造も手取り、漢州久保田精製、尾道製糖などのグループ会社を創し、従業員2000人規模の大企業へと成長して行きました。1919(大正8)年には、実用自動車製造株式会社を設立して自動車製造にも進出しますが、それは思うような成果を上げるまでには至りませんでした。もともとこの実用自動車製造と合資会社「グット自動車」の合併によって設立された「グット自動車製造株式会社」は、現在の日産自動車の母体となりました。

健四郎は実業家であると同時に身理家でもあり、70件の特許、実用新案は150余も獲得していました。子どもの頃、最初の得意で実業家業となら、いつかは自分の手でという思いを、抱いていた健四郎の、たまにないチャレンジ精神には見習うべきものがあります。そんな自分を育ててくれた健四郎に対して、山口県に同じに健康を継承もしています。

本拠地である大阪においては、新しい子ども達の為に設立された私立出雲尋常小学校を支援され、岡山においては、出身地である大津町から、中津町、東津町を中心に、学校の建設や道路の整備といった公共事業に私財を投じています。そういった健四郎の功績を讃える記念碑が島内に数々見られ、2000(平成15)年には、尾道の名誉市民に選定され、合併後は尾道市名誉市民に引き継がれています。

③-25：近代化遺産活用事業：P29



評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成28年度

項目

他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴まち計画の認定を受けたことにより、各都市からの視察や調査が増えた。

➢平成28年度の主な視察、事例発表等

平成28年7月7日：広島県宅地建物取引業協会尾道支部研修会(尾道市)【事例発表】

平成28年11月7日：富山県都市計画協会(尾道市)【視察受け入れ】

平成27年11月9日：四国地方整備局(高松市)【事例発表】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

平成28年度 視察・研究などの対応実績

歴史的風致維持向上計画に関連する視察等の対応について					
平成28年度(2016年度)					
番号	月日	相手先	種別	内 容	
1	7/6	静岡県 富士吉田市	視察	歴史まちづくりについて	
2	7/7	広島県宅地建物取引業協会尾道支部	発表	景観施策について	
3	7/12	秋田県 横手市	調査	歴史的風致維持向上計画について	
4	8/2	埼玉県 埼玉県議会	視察	住宅施策(空き家バンク制度等)について	
5	8/17	茨城県 筑波大学大学院 学生	研究	空き家再生促進事業補助金について	
6	9/9	一般社団法人 移住・交流推進機構	調査	定住支援を行うNPO法人との関わり、空き家活用について	
7	9/23	兵庫県 神戸大学 学生	研究	空き家再生事業について	
8	10/16	広島県 尾道市東土堂町内会	講座	尾道の景観について	
9	10/18	熊本県 合志市	調査	空き家対策について	
10	11/4	岡山県 岡山大学 学生	〃	景観施策について	
11	11/7	富山県都市計画協会	視察	尾道市のまちづくり	
12	11/9	国土交通省四国地方整備局	発表	歴史的風致維持向上計画について	
13	11/18	宮城県 仙台市役所	視察	空き家再生促進事業について	
14	1/17	福井県 敦賀市議会	〃	歴史的風致維持向上計画について	

広島県宅地建物取引業協会尾道支部研修会(平成28年7月7日)



観光客(入込、外国人)数の推移

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

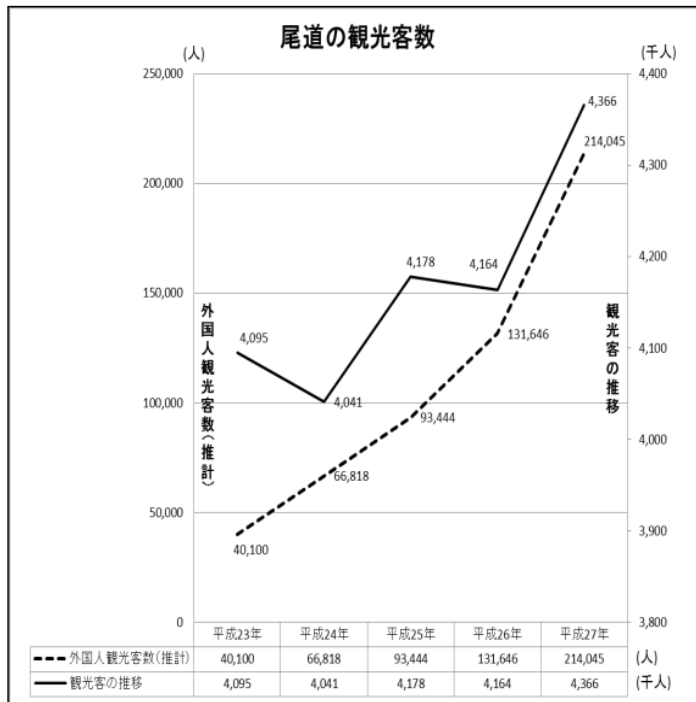
歴史的なまちなみや瀬戸内しまなみ海道のサイクリングなど多様な魅力によって、特に外国人観光客が増加している。
 >平成22年(認定前)約4万人⇒平成26年(認定後)約13万人⇒平成27年約21万人(数値はいずれも推計)
 「歴史的風致活用国際観光支援事業」等の支援を受け、引き続き、外国人旅行者の受け入れ体制の整備を行う。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



御袖天満宮からのまちなみ



尾道水道クルーズ



しまなみ海道サイクリング



評価対象年度 平成28年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議の名称:平成28年度第2回尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時

平成29年3月15日(水)14時から15時〔尾道市市民会館31号室〕

(コメントの概要)

- ①評価軸④『文化財の保存又は活用に関する事項』に関連し、計画本文中において「検討」とされている事業について、計画期間の半分が経過した現時点の取組状況はどのようになっているか。
- ②道路美装化工事の対象路線について、使用可能な状態にあるにも関わらず美装化するのではなく、歩行者の安全対策として必要か否かも判断した上で実施すべきと考える。
- ③評価軸④の『文化財の保存又は活用に関する事項』について、評価軸③の文化財関連の各事業を再掲しているが、同じ写真が使用されているため、アングルを変える等の工夫が必要ではないかと考える。

平成28年度第2回尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催状況 (H29.3.15)



(今後の対応方針)

- ①「検討」としている事業の内、『文化財調査事業』、『近代化遺産調査事業』については既に実施しており、『(仮称)尾道市歴史文化資源市民制度事業』は準備委員会による議論を経て実施に向け準備中である。『伝統的建造物群保存対策調査事業』は実施予定はないが、引き続き検討事業として位置付ける。
- ②道路美装化工事の対象としている路線は、舗装面、水路などが劣化しており修繕の必要性があることから、更にグレードアップを図る路線として計画に位置付けており、手すりや柵を合わせて整備することで歩行者の安全対策にも配慮している。
- ③さまざまな角度からの写真を使用し分かりやすい資料となるよう工夫したい。